

令和4年度最終号

はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和5年3月22日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」

自ら学ぶ子・人とつながる子

心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子

<https://shinmaizuru.maizuru.ed.jp>



祝！卒業・進級 感謝とともに

温かい春の風が吹き、校庭には土筆がたくさん顔を出しています。桜の木もずいぶん芽が膨らんできました。

85名の卒業生が23日に力強く巣立ちます。卒業生の皆さんの前途を心から祝福し、保護者並びにご家族の皆様にご心よりお祝い申し上げます。また、24日には、在校生479名がそれぞれの学年の課程を修了し、次の学年に進級します。今年度もコロナ禍での学校生活が続きましたが、元気に晴れの日を迎えることができ、こんなに嬉しいことはありません。



今年度「自ら学び たくましく 心豊かな児童の育成」を教育目標とし、「やる気！ 勇気！ 元気！ あふれる笑顔 新舞鶴っ子」を目指し、教育活動を進めてきました。

コロナ禍で様々な制限はありましたが、その中でできることを子どもたちやPTAの皆様と考え、地域の皆様にもお世話になりながら、ともに一生懸命粘り強く取り組んできました。それでも、今年度は6年生の1泊2日の修学旅行や5年生の社会見学、全校児童が会しての運動会など、昨年度はできなかったことができるようになったこともありました。これも日頃から保護者の皆様にご健康管理をお世話になり、感染拡大を防ぐことができたからと感謝しています。

朝、登校してくる子どもたちの挨拶の音が少しずつ増え、大きくなったように感じます。挨拶をする時の声や表情は、その日の子どもの調子のバロメーターです。体調が悪い時、何か心配なことがある時は、声のトーンが低くなり、聞き取れないくらいの声になってしまうこともあります。一日がんばるぞ！と言わんばかりの元気な声は、こちらまで元気になります。挨拶がきっかけになり、子どもたちと話をすることもあります。社会では、コロナ禍で人と人が直接顔を合わせて話す機会が減りました。しかし、成長著しい子どもたちには、人と出会って話したり聞いたりする力、仲間と話し合い、ともに成し遂げる力を伸ばすことが必須です。学校では、できる限り機会を取ってきましたが、これから一層充実させていかなければ、と思っています。

保護者の皆様、地域の皆様には、今年度も様々な面で支えていただきました。毎日の登下校につきましても健康管理や通学路の見守りなど、本当にありがとうございました。

これからも、新舞鶴っ子が、はせやまんに象徴される「やる気！ 勇気！ 元気！ あふれる笑顔」を大切にすくすくと育ちますよう、皆様のご支援をお願い申し上げます。令和4年度を終えるに当たってのご挨拶とさせていただきます。



校長 小森昌子

教職員一同

